

2024年 10月 6日 ≪ 誕生祝福式 ≫

主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③夜7時

司 会

②石井 潤師

奏 楽

祈 禱

②石井 秀人兄

賛 美 聖歌593番「ああめぐみ！」

～聖なる御霊よ～

パウロの祈り①

聖書朗読 使徒行伝20章28～32節

特別賛美 アサリオン

メッセージ 「パウロの遺言のことば」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌568番「み恵みのたかねに」

賛 美

～主を待ち望む者は～

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美

～主イエス神の愛～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

☆本日も礼拝の恵みを感謝致します！ 午後は、執事会を行います。

★今週の祈り会：①明朝6時。②木曜：午前10時半/夜7時半～。③土曜夜8時。

☆来週の日曜礼拝では聖餐式が行われます。午後は聖歌隊の練習が行われます。

〈予告〉☆10/14(月)午後2時「音楽と講演の集い」大川従道牧師夫妻(聖歌隊)

☆☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [10/6- /13] ☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	2テモテ 1-4	テトス1-3 ピレモン	イザヤ 1-4	5-8	9-12	13-16	17-21	22-25
チェック	○○○	○○○○	○○○○	○○○ ○	○○○○	○○○○	○○○○ ○	○○○○

「パウロの遺言のことば」

～「祈り」「御言」「聖霊」「恵み」～

「あなたがたが救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である。」「最後に言う。主にあって、その偉大な力によって、強くなりなさい。…また、救いのかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち、神の言を取りなさい。絶えず祈と願いをし、どんな時でも御霊によって祈り、そのために目をさましてうむことがなく、すべての聖徒のために祈りつづけなさい。」エペソ2章8節、6章10,17・18節

本日の使徒行伝20章の中で、パウロはこれからもう二度と会うことはないと感じているエペソのリーダーたちに、最も大切な、忘れてはならないことを、遺言を子どもたちに伝えるかのようにして語りました。

これから、厳しい時代がやってくる。今までも、迫害がありました。パウロという強いリーダーがいた。しかし、その後は悪魔が狼のように襲って来て、教会を荒らすようになる。しかし、「聖霊が、彼らを群れの監督者に選ばれたこと(28節)」、「目を覚まして祈ること(31節)」、「主と恵みの御言にゆだねること。そして、その御言には、彼らを成長させ、御国を継がせる力があることを信じ続けること(32節)」を伝えました。

パウロのように偉大なリーダーであっても、いつかはこの世を離れなければならない。そして、残されたリーダーたちはお互いに力を合わせ、励まし合い、祈り合い、信じ続ける必要があることを忘れないようにと語ります。「祈り」「御言」「聖霊」「恵み」こそが、クリスチャン、教会を守り導く大事な要素であることを語り伝えます。

そして、後に、ローマに到着したパウロはローマの軟禁状態の獄中から、そのエペソの教会に手紙を書き送ります。

「あなたがたの救いは確実で、その救いは、主の恵みと信仰によるのだ」。英語では「By grace, through faith」。私が学んだシアトルのシティーチャーチの牧師の一人であるジュード牧師が毎回のメッセージで語っていました。私たちが何か良い事をしたから救われているのではなく、一方的な神の恵みを私たちが信じたからその救いが与えられているのだ！というメッセージでした。私たちは主の恵みを信じ続けなければなりません。「恵みとあわれみが追いかけてくる」のですが、それを信仰をもって受け止めなければ自分のものとはならないのです。

そして、「神の御言」＝「御霊の剣」。聖霊様が神様の御言を使って、私たちが力ある信仰者へと成長させてくださいます。聖書は誰でも読むことができます。たとえ、クリスチャンでなくても。しかし、そこに聖霊様が働く必要があるのです。神の言を聖霊によって祈って、信じて受けとめていくときに、主は大いなる恵みを持って、私たちに祝福してくださるのです。

私たちは、偉大なリーダーがいる時、その人物を特別なものとして見てしまう弱さがあります。しかし、そのリーダーが取り去られたときこそ、私たちの真の信仰が目覚める時でもあります。パウロはそのことを意識していました。「祈り」「御言」「聖霊」「恵み」を体験しましょう！